

地区住民一丸となった新しい地域農業の実現に向けた挑戦

事業名：経営構造対策事業（平成16年度認定）
 地区名：岐阜県関市関田原地区
 事業主体：(有)ふる里農園・美の関
 施設名：複合経営促進施設 2棟6,102㎡（H16）
 育苗施設（いちご）1棟1,620㎡（H16）
 総合交流拠点施設 1棟 600㎡（H17）
 事業費：415,206千円（国費：197,717千円）

1. 組織の概要

- (1) 組織名：(有)ふる里農園・美の関
 (2) 構成員：43名
 (3) 設立年月日：平成15年8月26日
 (4) 業務内容等：野菜・果樹及び穀類等の生産
 農畜産物の加工及び販売
 農畜産物の直売所の経営 ほか
 (5) 連絡先：(有)ふる里農園・美の関
 0575-22-2595

2. 取組概要

- (1) 施設導入経緯
 関田原地区の東部に広がる畑地帯（22.4ha）では、農道・用排水施設等の未整備から飼料畑としての利用がせいぜいであり、従来から有効活用されているとは言い難い状況であったが、平成15年度のほ場整備事業の着手（～H18予定）を契機として、地域農業者自らの手で効率的かつ安定的な農業経営の実現と地域農業の活性化を図ろうという気運が盛り上がり、話し合いを重ねる中から地区住民の総意により農業法人を立ち上げ、その法人を中核として農地の利用集積を図るとともに、新技術の導入による生産性の高い農業の実践や地域内農産物の直売、加工による付加価値向上に取り組むこととし、都市住民等との交流機能等も併せ持った拠点施設の整備を目指すこととなった。

- (2) 取組概要
 複合経営促進施設（いちご、トマトの水耕栽培施設）及び育苗施

設の導入による生産性の高い農業生産に取り組むための条件整備を図るとともに、17年度には地域内農産物の直売やそれらを原材料として付加価値の高い加工品等の製造を行うための農産物処理加工、さらには都市住民等の地域農業に対する理解を深め、併せて地域内農産物の良さを再認識してもらうための食品加工体験・研修等の各種機能を兼ね備えた総合交流拠点施設の整備を図る。

また、並行して、現在これら施設の円滑な運営を図るため、地区住民主体による体制整備を進めており、既に地区内の高齢者等が中心となった直売所への出荷者組織や農産物加工・体験指導等に当たる農業女性グループ等が立ち上げられ、活動を開始している。

3. 目標設定

(1) 全国共通目標

担い手への農地の利用集積 上段：集積率（%）、下段：面積（ha）			遊休農地の解消		地域提案目標 （新規就農者の確保）		
計画時	目標	増加 ポイント	計画時 （ha）	目標 （ha）	計画時 （人）	目標 （人）	増加率 （%）
(45.0%) 95.1	(55.1%) 116.4	10.1	0.0	0.0	0	3	皆増

(2) 地区選択目標

高齢者・女性グループの育成		雇用の確保	
計画時（組織）	目標（組織）	計画時（人）	目標（人）
0	2	0	13

整備施設

いちごの水耕栽培施設



トマトの遂行栽培施設

